

なは一と利用時のスタッフ配置について

対象となる施設利用

- ・大劇場または小劇場を利用する場合
- ・大スタジオまたは小スタジオで催事を行う場合。(機器使用の伴わない稽古は除く)

主催者の皆様へ

■舞台監督は、催事の内容や規模に関係なく、必ず配置してください。

舞台監督は、舞台に精通している人(=普段から舞台技術関係を生業としている人)を配置してください。

舞台監督には利用期間中の舞台全体(出演者だけでなく、技術スタッフの作業等も含む)の利用開始から退館までの段取り、利用期間中のスケジュール管理、リハーサルや本番の進行管理を行っていただくとともに、主催者側の舞台全体の安全管理を行っていただく必要がございます。

舞台監督を務める方が、舞台監督経験の無い場合や、舞台の機構・機器・安全管理等に精通していない場合、舞台セットや照明・音響の仕込みができない、本番の舞台・音響・照明・出演者の指示ができず進行に支障をきたす、通常時・非常時の主催者としての安全管理ができないなど、運営上・安全上支障をきたす恐れがございます。舞台監督は、舞台演出による公演の質を向上させるとともに、劇場の使用開始から終了までの作業を円滑に、安全に進める上で重要な役割を担っておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

また、舞台監督を担当される方は、下記の事項も遵守していただきますようお願いいたします。

■音響、照明、舞台大道具、映像の各チーフも原則配置が必要です。各チーフの人数等は舞台監督とご相談ください。

ただし、催事の内容や規模によってはチーフが不要となる場合もあります。その場合でも、舞台監督へ催事内容や演出等をお伝えの上、舞台監督と劇場常駐の技術スタッフが打ち合わせを行い、配置の必要性を判断いたします。主催者で判断せず、劇場、舞台監督とご相談の上、決定するようにお願いいたします。

■チーフ以外の乗り込み技術スタッフ(音響、照明、舞台大道具、映像、その他)の必要人数については、催事の内容や演出、舞台配置等で大幅に変動します。

舞台監督へ催事内容や演出等をお伝えの上、必ず舞台監督が必要人数を判断し劇場常駐の技術スタッフへお問い合わせください。

舞台監督の皆様へ

当劇場に常駐の技術スタッフは、安全管理と劇場機器のシステム管理に従事いたします。

公演中の演出上きっかけに係るポジションは乗り込みスタッフで担っていただくことになります。

舞台機構操作につきましては劇場特有のシステムとなりますので、安全管理上、劇場スタッフにて操作運転いたしますが、演出上きっかけがある場合は舞台監督よりキュー出しをお願いいたします。

照明のフォローピンが必要であればその人員を、音響のワイヤレスケア係が必要であれば

その人員も乗込みスタッフとして配置をお願いいたします。